

熊本地震で被災した 西原村へ職員を派遣 老人クラブは義援金を送付



▲災害ボランティア向けのオリエンテーションの様子

支援Pとは、企業・NP
O・社協・共同募金会等に
より構成されるネットワー
ク組織です。

派遣期間は五月九日～
十五日の二週間で、震源地
でもある西原村で災害ボ
ランティアセンターの運営
支援にあたりました。

また片品村老人クラブ
連合会では、会員皆さま
の善意により義援金十三
万千八百円を県老連を
通じて、被災地へ届けまし
た。

村民の皆様のご協力に
感謝します。ありがとうご
ざいました。

四月十四日に発生した熊本・
大分を震源とする地震災害に
おいて、災害ボランティア活動支
援プロジェクト会議(略称…支援
P)の派遣要請に基づき、職員一
名を派遣しました。

地区別福祉関係者会議



▲マップづくりに真剣に取り組む戸倉の皆さん

五月十六日の第七区を皮
切りに、地区役員及び福祉
関係者による会議が、区ご
とに開かれました。

参加者は要援護者等につ
いて情報交換を行いながら、
災害時等の要援護者支援
(百五十四世帯)のための安
心安全マップづくりを行いま
した。

いざという時は、関係者の
皆様のご協力を宜しくお
願いいたします。

平成二十八年度 第回理事・評議員会

五月二十三日に役場の二階
にて開催され、平成二十七
年度の事業報告書と決算書
について審議され、いずれの
議案も承認または認定され
ました。

また、二十八年度の役員選
出母体の会長等の、交代に
よる新役員の選任が行われ
ました。



▲理事会に出席された役員の皆さん